



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2017年(平成29年)1月15日 第78号



日立駅 「回廊の中で：この場所のための4つの虹-KENPOKU ART 2016のために」 アーティスト：ダニエル・ビュレン

目次

- 新春のごあいさつ（会長）…………… 2
- 第35回県民生委員児童委員大会…………… 2
- 新年あいさつ（知事）…………… 3
- 全国民生委員児童委員大会に参加して …… 3
- 相談技法研修会に参加して…………… 4
- 全国主任児童委員研修会に参加して………… 4
- 退任にあたって…………… 5
- 地区民児協だより
 - ・ 高萩市…………… 6
 - ・ 城里町…………… 6
 - ・ かすみがうら市…………… 7
 - ・ 五霞町…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8



民生委員制度創設100周年

新春のごあいさつ



県民児協会長 鯨 井 登美子

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月の一斉改選に伴い、再任された委員の方々は活動の大切さを改めて心に刻み、新任委員の方々は地域福祉の新たな担い手としての期待を胸に、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

特に、新任委員の皆さんは、悩みながら活動する毎日かと思いますが、些細なことでも先輩委員に相談し、無理のない活動をお願いしたいと思います。

また、各市町村民児協におかれましては、定例会が自由に語り合える場となるような工夫等を通して、新任委員の皆さんが相談しやすい雰囲気づくりへのご配慮をいただければと思います。県民児協といたしましても、新任の方々と始め、委員の皆様の活動の一助と

なる研修会の開催や情報の提供など、委員の皆様が活動しやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

さて、今年、「民生委員制度創設100周年」という大きな節目の年に当たります。これを契機に、100周年PR活動等を通して、私たちが身近な相談相手であることを広く地域に知っていただくことを願っております。また、今改めて、常に住民の立場に立って相談に応じるという活動の基本を意識してみることも大切なことかと思ひます。

結びに、本年も県民児協事業への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

第35回茨城県民生委員児童委員大会が開催される

県民児協理事 市 村 捷 二

爽やかな秋晴れの10月14日、第35回茨城県民生委員児童委員大会が茨城県県民文化センター大ホールを会場にして、県内各地で活動する民生委員・児童委員がそれぞれの目的意識や活動内容を共有し、交流を深めるとともに、これからの民生委員・児童委員活動の一層の充実を目指すことを目的に、盛大に開催されました。

式典前の講演は、「The 庶務・情報発信隊員―南極地観測隊を支えるために奔走した2年間―」と題して、つくば市市長公室ひと・まち連携課主査塚本健司氏より、南極観測隊員がブリザードの厳しい環境の中で活動する状況を、映像と音響を交えて話されました。

観測隊には観測系の隊員と設営系の隊員で構成され、その中で庶務担当としての調整役に奔走し、本国への情報発信に力をそそぎ事故もなく無事に2年間勤めあげたことを分かり易く、また楽しく話された講演でした。

式典では、国歌斉唱、物故者22名

の慰霊黙とう、信条朗読と続き、鯨井会長の主催者あいさつの後、顕彰に入りました。

顕彰では、茨城県民生委員児童委員協議会会長表彰者751名を5ブロックに分けて、それぞれの代表者に表彰状が手渡されました。

続いて、来賓祝辞と受賞者代表謝辞の後、大会宣言が採択され県大会が終了しました。



新年あいさつ



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとうございます。民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動をととして、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、厳しさが残る一年でありましたが、G7科学技術大臣会合や県北芸術祭の開催、企業立地の進展等、明るい話題もありました。

本年も、災害に強い県土づくり、地方創生や「人が輝く元気で住みよい いばらき」づくりに全力を尽くしてまいります。

まず、少人数教育や理数・国際教育、道徳・郷土教育、就学前教育などを推進しますとともに、女性や若者が活躍しやすい環境づくりや文化の振興などに力を注いでまいります。

また、広域交通ネットワークの

整備や企業誘致、中小企業や観光の振興、農業の6次産業化や農産物の輸出の促進、人材のUIJタインの推進、県北地域の振興などに取り組んでまいります。

さらに、結婚・出産・子育てまで切れ目のない若い世代への支援や地域医療の充実、高齢者の健康・生きがいづくりや障害者の自立支援、さらには治安の確保や交通安全対策などを推進してまいります。

昨年12月には一斉改選が行われ、新任の方が新たに加わりましたが、民生委員・児童委員の皆様におかれましては、引き続き地域福祉の推進役として、本県の社会福祉の向上のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

全国民生委員児童委員大会 参加報告

県民児協副会長 竹内 昌信

第85回全国民生委員児童委員大会が10月20日～21日の両日、香川県高松市「サンメッセ香川」を会場に、全国から3800余名の民生委員・児童委員が参加し、盛大に開催されました。本県からは、鯨井会長以下28名が参加いたしました。

1日目は、「高松市役所吹奏楽団」の素晴らしいオープニングセレモニーで開幕し、香川県民児協会長の開会あいさつ、続いて全国民児連の堀江正俊会長の式辞、さらに主催者あいさつと続きました。その後各賞の表彰に入り、茨城県では優良民生委員児童委員協議会表彰として、筑西市下館東部地区民生委員児童委員協議会が受賞され、永年勤続単位民児協会長で3名、永年勤続民生委員・児童委員では、132名が表彰を受けられました。式典後、特別講演では、「ありがとう この生命 ありがとう あなたとの出会い」をテーマに、少林寺拳法グループ総裁の宗由貴氏が「少林寺拳法を通じて、人間が持っている成長能力を高め、その秘める可能性を引き出し、豊かな

な社会を築く人を育てる」という精神を語られました。

2日目は、10の活動交流集会とシンポジウム1・2が、各分科会会場で、「全国の民生委員児童委員がかかえる問題」をテーマに真剣に討論されました。今回の大会は、来年の「民生委員制度創設100周年」に向けて、これからの民生委員・児童委員が活動強化に向けての方策や取り組みを、どのように推し進めるか考えるにふさわしい意義ある大会であったと実感いたしました。



民生委員・児童委員のための 相談技法研修会に参加して

県民児協理事 井上 充 宏

平成28年度民生委員・児童委員のための相談技法研修会が、8月22日(23日、T O C有明(東京都江東区)で開催され、全国から140名が参加しました。

1日目は、全社協民生部の今井副部長のあいさつの後、元梅花女子大学准教授上田寿之氏による「相談援助の視点と態度」についての講義を受けました。その中で、援助の基本的態度として、①プライバイシーに留意する②気持ちをしっかりと受け止めてやる③個人の感情を入れない④あるがままを受け止める⑤決して裁かない⑥あくまで側面から援助するなどが基本であることを学びました。

続いて行われた演習では、「傾聴の基本」として①関係としての援助②共感と同情③自他の区別④自己開示の介入⑤傾聴的応答などの事例を通して基本的技法を学びました。

2日目は、「相談・支援活動のポイント(基礎編)」のビデオ学習を行いました。そこでは、「きつかけづくり」「相手の思いを受け止める」

「相手の立場に立つ」などを学ぶ3つの内容のビデオを視聴し、12グループに分かれての話し合いと発表の後、講師の植田氏のコメントをいただきました。

それぞれのテーマの重要なポイントが簡潔にまとめられていて、今後の活動に役立てたいと思いました。2日間にわたった講義と演習を通して、相談技法の大切さを改めて感じられました。



全国主任児童委員研修会に参加して

常陸大宮市主任児童委員 小室 美智子

平成28年度全国主任児童委員研修会(東日本)が8月1日(2日、千葉市東京ベイ幕張ホールにおいて、239名が参加して開催されました。

1日目は、厚生労働省少子化総合対策室の松村智史氏の行政説明、「児童福祉の動向と児童委員活動」と題し、児童委員・主任児童委員の役割、少子化対策等について話されました。その後、明治学院大学学長教授松原康雄氏より「児童福祉法改正と主任児童委員への期待」と題し、講義がありました。

その中で、アンジェラアキさんの歌曲、「手紙(拝啓15の君へ)」が紹介されました。曲を通し、聴く耳、見守る眼、支える手の大切さを痛感しました。

シンポジウムでは、「虐待への対応力を強化するために地域における主任児童委員の役割」をテーマに、3人の発表がありました。群馬県の子ども園園長から、自身も主任児童委員を経験し、虐待が懸念される子どもへの具体的な対応や日頃の児童

委員・主任児童委員と子育て広場や養護施設などの社会資源との連携の大切さを話されました。

2日目の分散会は、「主任児童委員が果たすべき今日的役割をどう考えるか」をテーマに、グループワークを行いました。

研修会に参加して、改めて地域における子育て状況の把握、子育て支援への参画、専門職へのつなぎ、気づきを大切に支援していききたいと思いました。



退任された

県民児協

役員の方々

退任にあたって



鯨井登美子

前高木会長の後、不安の中でお受けしました会長職でございましたが、副会長始め役員の皆様、事務局の皆様を支えていただき、微力ながらも重責を果たすことが出来ました。今は、只々感謝の思いでいっぱいでございます。この間、出会いの機会に恵まれました、お一人おひとりが私にとりまして大きな財産でございます。ご指導、ご支援いただきました皆様は改めて御礼申し上げます。県民児協の益々の発展をご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

退任にあたって



宮島 孝明

任期の終りを迎え、諸先輩同僚、事務局のご指導のもと大過なく職責を果たすことができました。感謝を心より申し上げます。

近年、急速な少子高齢化に伴う地域福祉の多様化と困難に直面した時、私達民生委員の存在の重要性を再認識いたしました。

県内5261名の民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様は暖かい光を地域に向けられることを願いしながら益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

退任にあたって



井上 充宏

県民児協の理事、民児協いばらきの編集委員として、皆様の温かい励ましとご指導により、充実した3年間を送ることが出来ました。特に、全国大会や関係大会への参加、民児協いばらきの発行等を通して、県内外の委員活動の様子を垣間見ることが出来、貴重な財産となりました。民生委員制度創設100周年にあたり、県民児協の益々の発展と委員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

退任にあたって



戸野 文雄

この度の一斉改選により、退任することになりました。県民児協理事として短い期間でしたが大過なく職責を果たすことが出来ましたことは、諸先輩、事務局の皆様のご指導、ご支援に心より深く感謝申し上げます。これまですばらしい民生委員・児童委員の仲間、福祉関係の方々に助けられ、無事務めることができたこと、県民児協の益々の発展と委員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

退職にあたって



佐藤 肇

民生委員の活動経験も実績も少ない中で、県民児協の理事を拝命し、児童福祉部会の部長として活動してまいりました。任期の3

年間各地域の主任児童委員の皆さんとの研修会や会合を通して、主任児童委員の方々の活動を拝見させて頂き、地域担当民生委員とは別の取り組み方も理解できました。多様化する社会情勢の中、主任児童委員と地域担当民生委員の方々が協力を強め、民児協の益々の発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

退任にあたって



神保 忠正

任期により退任することになりました。県民児協理事・互助委員長として務めさせていただきましたが、委員の皆様のご協力、事務局の方々のご指導に支えられ、大過なく職責を果たすことが出来たこと、心より感謝申し上げます。

これまで、委員で亡くなられた方、病氣・怪我で入院された方が数多くおられました。これからの民児協の方々、くれぐれも健康に留意されご活躍されますようご祈念申し上げます。

退任にあたって



鶴見 重夫

民生委員・児童委員として、15年間地域の福祉課題に取り組んでまいりました。多様化する社会情勢の中でなかなか方向性を見出せない課題もありました。しかし、多くの委員の皆さんと活動できましたことは何よりのことでした。また、県民児協の評議員、理事を拝命し、多くの皆様や事務局のご指導のもと、職責を果たすことが出来ました。特に、「民児協いばらき」の編集委員

として活動出来ましたことは、思い出の一つとなっております。最後に皆様の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

退任にあたって



市村 捷二

委員として経験の浅い私が、県民児協の評議員、理事を9年間職責を果たせましたことはひとえに、諸先輩と県民児協事務局の方々からのご指導とご支援によるものであり、心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

全国民児連主催の教室や全国大会等に参加させていただきました、学んだ多くのことは、活動の基盤となり、貴重な財産となりました。

退任にあたり、皆様のご健勝にてご活躍され、民児協の益々のご発展をご祈念いたします。

退任にあたって



岩崎 昭一

県民児協での評議員、監事の6年間、先輩諸兄のご指導を賜り、心より感謝を申し上げます。

4期12年間、微力ですがその職責を全うさせていただきました。この間、高齢化、少子化、人口減少、子どもの貧困、防災対応などが課題でしたが、その根幹は都市と地方、地域間、所得などの格差であり、その改善こそ解決策だと思っています。今後の民児協のご活躍をご祈念申し上げます。

協 だ よ り

高萩市

高萩市民児協の活動について

高萩市民児協会長 三 國 省 治

高萩市の民児協は、市単位民児協で民生委員・児童委員59名(うち主任児童委員3名)で構成されています。運営委員会を中心に主任児童委員会、生活援護部会、児童福祉部会、高齢者福祉部会、障害者福祉部会で構成されており、年10回の定例会、視察研修、運営委員会を実施しています。

来年、民生委員制度は創設100周年を迎え、併せて主任児童委員創設22周年になります。

当民児協は、今まで事業活動の場として高齢者に力点を大きく置いて来ました。しかし、近年は青少年、幼児等の事件が目にとまることが多くなり、とりわけ児童虐待の自治体等の相談対応件数は全国で年間9万件に達しています。また、少子化や核家族化に伴う育児不安、子どもへの虐待、いじめや不登校など支援を必要とする家庭が多くあり、このような中、民生委員・児童委員の活動の振り子を、青少年・幼児対策に少しずつ早めに軌道修正するのを感じました。

民生委員・児童委員は子どもや子育て家庭への支援活動を行っていることから、当民児協は平成26年度より学校との連携を図ることで効果的に活動が展開できると考え、私たちが主体となり5つの学区に分かれ小学校との情報交換(各地区年2回程度)を行っています。

今後も青少年健全育成を資する事業として継続して行くために、当民児協は積極的に学校行事に参加し、児童や教職員との交流の機会を増やすとともに、学校や関係団体との連携を密にし活動をしていきます。



城里町

城里町民児協の活動について

城里町民児協会長 園 部 良 夫

県都水戸市に隣接する城里町は、平成17年2月1日に常北町、桂村、七会村が合併して誕生しました。東西に約19km、南北に約13kmにおよび、総面積161・73km²(旧常北町52・36km²、旧桂村46・33km²、旧七会村63・04km²)で、全体の約61%を森林が占めています。町の人口は19,468人です。

本町の民生委員児童委員協議会の構成は、民生委員・児童委員が47名、主任児童委員が3名の合計50名で構成されています。全国的な少子高齢化は社会問題となっておりありますが、本町の高齢化率は約30%となっており、ひとり暮らしの高齢者、高齢世帯の増加が顕著であり、高齢者への声掛け、見守り訪問が主要な活動となっています。

また、委員相互の学び合いや町内の情報交換を兼ねて毎月定例会を実施しています。

定例会では、活発な意見交換、事例検討が行われ、各委員の職務を遂行するために必要な知識技術の習得に努めています。

町内には、小学校5校、中学校2校があり、毎年それぞれ学区別に委員が訪問し、授業参観や校長先生はじめ教職員との懇談を実施し、児童生徒の生活様子、特に登下校の様子などの情報交換及び意見交換をしており、学校との連携を図っています。

また、①生活保護・就労関係②障害者福祉③児童福祉④高齢福祉⑤母子父子福祉の事項別委員会に別れ、外部講師による研修や施設見学などを行っています。

さらに、地域で困っている方が相談しやすい環境を作るため、町や社会福祉協議会等が主催する行事へ参加し、町民と委員の交流を深めています。



民 区 地

かすみがうら市

かすみがうら市民児協活動について

かすみがうら市民児協連合会長 久保田 敏 雄

かすみがうら市は、旧霞ヶ浦町と旧千代田町が合併し、11年が経過しました。

人口は約43,000人で高齢化率は約27%となっています。

市民児協は現在87名の委員(霞ヶ浦地区37名、千代田地区50名、うち主任児童委員5名)で構成され、各地区で毎月開催している定例会では、福祉に関連する勉強会や市内小中学校の先生方との意見交換会などを行っています。また、市主催の敬老式典や防災訓練、社協の事業である歳末助け合い事業などにも協力しています。さらに、ブックスタート事業として、乳児の4か月健診の際に乳児と保護者に対して、絵本の読み聞かせを行っています。

また、連合会事業としては、年1回両地区の合同定例会や、両地区併せての部会別事業を行い、両地区の交流を深め、横のつながりを持つようにしています。部会別事業ではそれぞれ両地区から部会別代表者を選出し、社会福祉部会、長寿福祉部会、子ども福祉部会の3つの部会に分かれて事業に沿った活動や勉強会をしています。

来年度は、民生委員制度創設100周年を迎えるにあたり、過去に活躍されていた民生委員・児童委員との交流会や、市で行われる催事イベント等での啓発活動を行う予定です。

近年、福祉に関する相談等が増加する中、今後も関係機関との連携を綿密にし、地域に根差した活動を心がけ、安全で安心な福祉のまちづくりに努めてまいります。



五霞町

五霞町民児協の活動について

五霞町民児協会長 篠崎 悦子

五霞町民児協は、定数20名(うち主任児童委員2名)の委員で構成されており、日々活動しています。

主な事業としては、毎月第3水曜日に開催される定例会においては、介護保険制度や生活困窮者自立支援制度について、またマイナンバー制度などの社会保障制度や児童虐待問題などの幅広い分野においての研修を行うことにより、民生委員活動として必要な知識の習得と資質の向上を図っています。さらに、年1回、町長との懇談や小中学校との懇談を行い、町の現状や児童の様子についての把握に努めています。

また、「民生委員児童委員活動強化週間」において、各行政区のシニアクラブに赴き、民生委員活動やマイナンバー制度を周知するとともに、毎年9月に開催される「健康福祉まつり」では、模擬店を出店することによりボランティア活動の促進といった活動も行っています。さらに、当民児協は赤十字奉仕団としても活動しており、毎年非常食の炊き出しや、救急法の研修を受講することにより、災害時や非常時において民生委員・児童委員としての役割を担えるような技術の習得に励んでいます。

今年度は、この研修を民生委員・児童委員だけではなく、住民からも参加者を募り、合同で受講することにより、地域住民との絆づくりのキッカケになりました。

今後も、地域住民との身近な相談者として、地元に着し、問題の解決に役立てる民生委員・児童委員を目指して活動に努めていきます。



事務局だより

◎退任

一斉改選により、次の役員及び評議員の方々が退任されました。長い間、誠にありがとうございました。これから益々ご健勝でご活躍されますようご祈念いたします。
(敬称略)

○理事

鯨井登美子(下妻市)
宮島 孝明(つくばみらい市)
井上 充宏(日立市)
畔野 文雄(常陸太田市)
佐藤 肇(笠間市)
神保 忠正(ひたちなか市)
鶴見 重夫(筑西市)
市村 捷二(北相馬郡利根町)



○監事

岩崎 昭一(稲敷市)

○評議員

福田紀二男(水戸市)
鈴木 千秋(日立市)
清水 愛子(土浦市)
廣末 健一(土浦市)
三村 重雄(古河市)
藤波 克己(石岡市)
半田 健市(龍ヶ崎市)
落合繁治郎(下妻市)
若月 博(常総市)
和田 行雄(常陸太田市)
内藤 義彦(取手市)
中山 勇(つくば市)
横須賀長二(ひたちなか市)
大槻 光夫(鹿嶋市)
梶 文雄(常陸大宮市)
椎名 猛博(那珂市)
遊佐 行弘(筑西市)
池田 正彦(坂東市)
小林美瑛子(桜川市)
北澤 洋(鉾田市)
安田 宰(つくばみらい市)
河野 進(那珂郡東海村)

◎平成二十八年年度

一斉改選の状況について

茨城県福祉指導課提供の資料によりますと、平成28年12月1日時点における民生委員・児童委員の定数及び委嘱数は、左表のとおりです。

今回の改選では、定数合計は5261名、欠員が75名おり、早い時期に充足されることを期待しています。

また、表にはありませんが、新任、再任別では、全体で新任が34%、再任された方が66%ということで、これも前回改選時とほぼ同じ割合でした。

区 分	定 数 (H25)	委嘱数	欠 員
地区担当	4,937 (4,912)	4,866	71
主任児童委員	324 (324)	320	4
合 計	5,261 (5,236)	5,186	75

※ ()内の数値は、H25年の定数を表す

編集後記

委員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。民生委員・児童委員の一斉改選により、新任の委員を迎えて、民児協の活動が活発に展開されていることと存じます。

退任された皆様、長い間ご苦勞様でした。また、原稿をお寄せ下さいました皆様には心より厚くお礼申し上げます。

「民児協いばらき」も第78号を迎え県民児協の行事、大会報告、各民児協だより等わかり易く参考になるよう編集してまいりました。

担当してききました私共も本号をもちまして任期満了となり、ご協力に心から感謝申し上げます。

編集委員長 鶴見 重夫
副委員長 矢田部 秀夫
委員長 井上 充宏
委員 中山 勇
委員 竹内 昌信
委員 市村 捷二
(矢田部 秀夫記)

発行人

一般財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会
会長 鯨井 登美子

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp

E-mail:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp